

松藻

〔大和本草〕海草松藻 松杉ノ葉ニ似テ青シ、石上ニ生ズ、生ニテモ乾テモ可食、

〔本朝食鑑〕水菜海藻略 中

松藻參州遠州海濱有之、狀似松杉葉而柔脆香滑、生于石上、綠色、生乾俱可食、久煮則消盡矣。

海松

〔倭名類聚抄〕海菜海松 崔禹錫食經云、水松狀如松而無葉、和名楊氏漢語抄云、海松俗用之、

〔倭訓栞〕前編三十みる略 中 倭名抄に海松をよめり、ふかみる、うきみる、みるぶきなどもよめり

鷓鴣菜也といへり、岩に生てかつ色かへぬ物なれば、伊勢物語につれなくはとよめり、深海松万

葉集によめり、延喜式諸國の貢にも長海松、深海松あり、

〔重修本草綱目啓蒙〕水草水松 ミル

ウミマツト訓ズルハ非ナリ、物理小識ニ、本草水松ハ水中苔也トノ文ニ據リテ、ミルト訓ズベシ

ミルハ海中石上ニ生ズ、菜類ナリ、徑リ二分許、形圓ク枝多シテ棒蘭ノ如ニシテ綠色ナリ、長サ六

七寸食用トス、一種ナガミルハ長サ四五尺アリ、薩州ノ産ナリ、

増、一種ヒラミルト呼ブモノアリ、一名ラシャノリト云フ、濶サ五六分ニシテ長サ一尺許、深綠色

ニシテ哆羅絨ノ肌ノ如シ、春月採テ灰ヲ雜エ、日ニ乾シテ遠ニ寄スコレヲハイボシミルト云、阿

州鳴門ノ名産ナリ、

〔令義解〕三賦凡調略 中 正丁一人、絹繩八尺五寸略 中 若輸雜物者略 中 海松一百卅斤、

〔延喜式〕民部二十三交易雜物

伊勢國中略海松五斤 參河國中略海松五斤 出雲國中略海松一斤 石見國中略海松一斤 紀伊國中略

海松卅斤 右以正稅交易進、其運功食並用正稅、

〔延喜式〕主計二十四凡諸國輸調略 中 一丁中略海藻、海松各卅三斤、但隱岐國卅三斤、五兩